

ホステリングマガジン vol.44 / 2026 Spring

JAPAN
Youth Hostels, Inc.

H[®]ostelling Magazine



COVER INTERVIEW

岡本姫奈
(乃木坂46)

いつも行き先は始発駅



この冊子は、宝くじの社会貢献広報事業として助成を受け作成されたものです。



おいしい顔で、
いきましょー！



ランチパック



NOGIZAKA46
Coupling
Collection
2022 — 2025

2月20日(金)、21日(土)
@ 有明アリーナ

My respect

5th ALBUM MEMORIAL LIVE
NOGIZAKA46

2月22日(日)、23日(月・祝)
@ 有明アリーナ

配信チケット販売中!

詳細は乃木坂46公式HPをチェック!



日本ユースホステル協会は日本国内にユースホステルを設置・運営すると共に、国際ユースホステル連盟 (Hostelling International) や各国のユースホステル協会と協調し、知見を広める「旅」を促進する活動を行っています。

子どもはおとなに。
おとなは子どもに、
なれる場所。



- 02 | Cover Interview
岡本姫奈(乃木坂46)
いつも行き先は始発駅

- 08 | Youth Hostel Pick up
ユースホステルKikai
「新しいふるさと」がここにある
サンゴの島に誕生した出会いの宿

- 12 | Hostelling Magazine × 地球の歩き方
食べて 祈って 開運を願う
伝統に触れる台湾旅
-台北-

- 16 | 鉄道写真家 櫻井 寛「列車で行こう!」

- 18 | 松島むうの晴れときどき旅びより

- 20 | YH-GUIDE ユースホステルガイド
和歌山県 / 岡山県 / 広島県 / 山口県 / 徳島県
香川県 / 愛媛県 / 高知県 / 佐賀県 / 熊本県
大分県 / 鹿児島県 / 沖縄県

※本誌の情報は2026年2月10日現在のものです。変更になる場合がありますので、お出かけの前に現地にお確かめください。

発行所 一般財団法人日本ユースホステル協会 編集・発行人 寺島 真

TEL.(03)5738-0546 〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1国立オリンピック記念青少年総合センター内

※本誌掲載記事の無断転載を禁じます。

いつも行き先は始発駅

Hostelling Magazine Cover Interview

Okamoto Hina

PROFILE |

乃木坂46

岡本 姫奈 (おかもと ひな)

2003年12月17日生まれ 愛知県出身。2022年に『乃木坂46 新メンバー募集オーディション』に合格し、乃木坂46 5期生メンバーとして加入。2025年5月に東海ラジオ『乃木坂46 岡本姫奈のおかひな時間』のレギュラー放送が開始。地元での活動も積極的に行う。同年8月には、株式会社バンダイナムコエンターテインメントのゲーム『ドラゴンボール ゲキシン スクアドラ』のCMにも出演。2026年1月には舞台『鬼太郎誕生 ゲゲゲの謎』に出演とグループ内外で幅広く活動中。

スタイリスト:菅野 悠 / ヘアメイク:tamago / フォト:小林潤次(七彩工房)
インタビュー:中島香菜(株式会社YOSCA)



「想いを言葉にする」と、
意識を変えた一年だった

—2025年は、ラジオ『乃木坂 46 岡本姫奈のおかひな時間』の放送開始に『ドラゴンボール ゲキシン スクアドラ』のCMへの出演、そして舞台『鬼太郎誕生 ゲゲゲの謎』の出演発表と、個人の活躍が光る年でしたね！

ありがとうございます！ラジオのパーソナリティーも、ドラゴンボールに関わるお仕事も、どちらも長年の夢だったので、2025年は夢をたくさん叶えてもらった一年でした。『鬼太郎誕生 ゲゲゲの謎』は、グループの外で初めて一人で立つ舞台。だからこそ、ステップアップの機会にしたいと思って取り組みました。以前、乃木坂46の5期生でミュージカル『美少女戦士セーラームーン 2024』をやらせていただいた期間は、すべてが新鮮で楽しくて、とても自分自身キラキラした時間だったと思います。大好きな舞台のお仕事にまた挑戦させていただいて、とてもうれしかったです！

—グループの活動でも 39thシングル『Same numbers』で初の選抜メンバー入り、40thシングル『ピリヤニ』も2作品連続で選抜入りと、大きく環境が変わった年でもありましたよね。何が変化のきっかけになったと思いますか？

“きっかけ”と言えるのか、分からないんですけど、2025年は「目標を言葉にして、発信していこう」と、意識を変えた年だったんです。目標を立てると期待も生まれるし、うまくいかなかったら傷つくじゃないですか。私は乃木坂46に入る前、人生をかけて向き合っていたバレエでそういう経験を何度もしていきうちに「自分がどうなりたいか」をうまく言葉にできなくなっていました。なので、ファンの方に「選抜に入ろう！」と声をかけていただいたときも、はっきりとしたお返事ができずにいたんです。

乃木坂46のライブって、どんなに大きな会場でもファンの方の視線がすごくわかるんです。「あ、双眼鏡で見てくれる」とか「遠くでサイリウムを振ってくれてる」って。私がどこにいても応援してくれて、ライブの後には「あのパフォーマンスが好きだったよ」「輝いていたよ」と、うれしい言葉をかけてくれる。そんなファンの方々の存在が私の力になっているし、ライブに限らず、いろいろな形で届く言葉にずっと救われてきました。

私が今「乃木坂46に入ってよかった！」と心から思えるのは、ファンの方の言葉があったからなんだ。そう実感する日々の中で「私も自分の気持ちを言葉にして、伝えないとダメだ」という想いがどんどん強くなってきて…。昨年3月に、傷ついていても「選抜に入れなくて悔しい」という正直な気持ちを伝える

ことにしたんです。皆さんにどう受け止められるのか、最初はちょっと怖かったですけど…、今は意識を変えてよかったと思っています。想いは言葉にして、ちゃんと伝えていかなくちゃいけないなって。そう気付けた一年でした。

—ファンの方々の言葉に推されて「選抜に入る」という夢を叶えた今、どんな言葉が届いていますか？

選抜メンバーとして周った初めての全国ツアーのとき、ずっと応援してくれている方々から「初めて双眼鏡で追うのが難しかった」とか「プレッシャーがあるだろうけど、どこにいたって、あなたがアイドルをしていてくれたらそれでいいから」と言っただいて。…こんなに温かいファンの方々に恵まれて、本当に幸せです！

—昨年、横浜 BUNTAIで行われたアンダーライブに行かれたことをInstagramで発信されていましたよね。選抜に入ると「アンダーライブのメンバーではなくなる」ということにもなると思うんですけど、観客席から見たアンダーライブは、岡本さんの目にどう映りましたか？

アンダーライブは、私にダンスや歌、パフォーマンスを一から見つめ直す大切な時間を与えてくれた大切な場所です。気付けたこともたくさんあって、一番成長させてくれた場所でもあります。昨年初めて、自分のいないアンダーライブを見て、正直、焦りました。こんなに素晴らしいパフォーマンスができるメンバーがたくさんいらっしゃる中で、私は選抜メンバーとしてのパフォーマンスができていけるのかなって…。「私が選抜にいる意味ってなんだろう」と少し悩んでしまうぐらい、それぐらいすごいライブでした。

—卒業されるメンバーがいる一方で、選抜、アンダー、そして本格的にグループの活動に加わる6期生と、乃木坂46の層の厚さがますます増えています。これからの乃木坂46をどんなグループにしていきたいですか？

松尾美佑さんの『踏んでしまった』とか、中村麗乃さんの『悪い成分』とか、楽曲一つひとつに「センターを務めた先輩の色」があると思っています。先輩がご卒業されても、私たちはその楽曲と「先輩の色」も一緒に受け継いでいきたいと思っています。昨年、乃木坂46は11回目のNHK紅白歌合戦に出演させていただくことができました。すごくうれしかったですし、出演できると聞いたときはとても安心したんですけど、これを12回、13回とつないでいくために、皆さんに「乃木坂46っていいよね！」と支持していただくために、メンバーと一緒に今以上にがんばっていきたいです！



Okamoto Hina

—すみません…今日何うまで、勝手に“天然キャラ”のイメージを持っていたんですが、実際にお会いするとすごく真面目な受け答えで…ギャップにびっくりしました(笑)。

いやいやいや、真面目じゃないです(笑)。全然、真面目じゃないです！恥ずかしい…。

憧れていた 普通の生活とアイドル

—「乃木坂46に加入する前、人生をかけてバレエに向き合っていた」とおっしゃっていましたが、どんな子ども時代だったんですか？

バレエを始めたのは5歳の時でした。いろいろな習い事にチャレンジしても、どれもじっくりこななかった私が、バレエの体験教室で音に合わせて踊ってみたらとっても楽しくて。幼いながらに「これだ！」と感じたのを今でも覚えています。それから、ひたすらバレエに打ち込む日々でしたね。真剣に取り組んでいた分、苦しいこともあって…。特にコンクールは、何百時間もかけて努力した成果を、1分ちょっとの演技で発揮しなければなりません。結果が出なかったときは、すべてを否定されたような気持ちになって…すごく苦しかったです。小学4年生くらいからは、コンクールやワークショップに参加するために、一人で自宅のある愛知から東京のスタジオに通うこともありまし

た。電車の経路を書いたメモを握りしめて、駅員さんに聞きながら人混みの中を移動するのは、とても心細かったのを覚えています。実は、その時に使用していたスタジオで、今ハースルをするところもあるんです。今でもそのスタジオに入ると当時の思い出がプワッと蘇って、胸が苦しくなることもあります(苦笑)。

—聞いているだけでもプレッシャーが…。そんな苦しい思いをしながらも、バレエを続けていた理由は何だったのでしょうか？

家族の存在が大きかったです。毎日学校と教室と自宅の送り迎えをしてくれて、バレエに集中できる環境を一生懸命作ってくれました。レッスン代もかかりますから、負担は小さくなかったと思います。幼いなりにそのことを理解していたので、中途半端に向き合うことはできなかったんだと思います。将来バレエの指導者になったときのことまで考えて、ロシア留学の準備を進めていました。

—そんな岡本さんが、なぜ乃木坂46のオーディションに参加することになったのでしょうか？

留学先が決まってから日本を出発するまでに、半年間ぐらい時間ができたんです。向こうに行ったらまたレッスン漬けの日々が待っているのでも「後悔のないように、日本でやりたいことをこ



の期間に全部やろう！」と思って、放課後に友達と遊んだり、ファーストフードを食べに行ったり、それまでできなかったことを思い切って全部やってみたんす。今考えると、どれも普通のことなんですけど(笑)、当時の私には本当に新鮮で。きっとどこかで「普通の高校生の日常」に憧れていたんだと思います。

そんな生活を送る中で「乃木坂46の5期生オーディションが開催される」と知ったんです。当時から乃木坂46の大ファンで、普通の女の子が抱く純粋な「アイドルへの憧れ」のようなものはあったんですけど、まさか自分が合格するなんて、もちろん想像してなくて。「一次審査だけ、経験として受けてみよう」と、そのくらいの意気込みで応募しました。人生って、ほんの少しの行動でこんなにも大きく変わるんですよ。自分でもびっくりしています。

経験を求めて、 これからも

—テレビ番組『乃木坂工事中』(TXN)やメンバーのSNSでの発信を見ると、乃木坂46のメンバーは旅好きの方が多いですよ！

そう思います！まとまったお休みに旅行に行くメンバーは多いですね。昨年は「真夏の全国ツアー 2025」を完走した次の日から夏休みだったので、私は同期の菅原咲月、中西アルノとハワイに行ってきました！ライブが終わった日の夜に大急ぎで準備を始めて、ほとんど寝ないまま朝に。夜のフライトだったので「機内で寝ればいいよね！」なんて話していたんですけど、楽しすぎて機内では一睡もできず…。現地に着いたらフラフラでした(笑)。実はこのハワイ旅行、舞台のお仕事が決まった私のために、ほかのメンバーが「じゃあ夏休みは姫奈の行きたいところに行こう！ちょっと奮発しちゃおう！」と言ってくれて決まった旅だったんです。みんな優しいですよ！メンバーの愛を感じる、思い出深い旅でした。

去年の夏は同じく同期の池田瑛紗と咲月と韓国にも行きました！本当はアルノも一緒に行くはずだったんですけどね…。私が航空券の予約担当だったので、みんなのパスポートの情報を予約サイトに入力していたんです。でも何回入力してもアルノだけエラーになってしまっ。「まさか…」と思ったら、パスポートの有効期限が切れていて…。こればかりはしょうがないので、三人で韓国を楽しむことができました！

—パスポートの有効期限切れ…それはツライ。結果、小競り合いが心配な三人の韓国旅になったわけですね…(笑)。

そうなんです…この三人がそろると、どうしても小競り合いになっちゃうんですね(笑)。今回の旅でも小競り合いになって。瑛紗は気に入ったお店があると、何回も繰り返し行きたい子なんです。韓国に行っても「1日目に入ったレストランがおいしかったから、2日目も同じお店に行こう」と言い出して。でも、せっかく韓国まで来たんだから、いろんなお店を開拓したいじゃないですか。そこでもう小競り合いです…。最終的には多数決で、別のお店に行くことになりました(笑)。

—小競り合いするほどの仲良しってことですね(笑)。そういえば以前、SHOWROOM生配信『のぎおび』で「ハワイは英語が伝わる。住める！」とおっしゃっていましたよね。

今振り返ると、少々盛りすぎてしまった気もしますが…(苦笑)。でも言葉って、伝える気持ちさえあれば、何とかありません？私はあまり英語のコミュニケーションに物怖じしないタイプで、韓国でもハワイでも、分からないことがあれば現地の方に聞いちゃうんです。ロシアへの留学が決まったときも、言葉の不安はあまりなかったんですよ。「しゃべれなければ生きていけないんだから、必死で覚えるでしょう！」と、そこは楽観的でした(笑)。

—たしかに気持ちで何とかなっちゃうことって多い気がします！海外の旅の思い出を中心に伺いましたが、日本国内を旅することもありますか？

国内旅行も大好きですよ！先日1日オフができたので、高校時

代の友人を誘って京都に行ってきました。自分で選んだ着物をレンタルして、行ってみたかった神社にも行き、抹茶や湯葉などの京都らしいグルメも味わって。弾丸旅行だったけれど、充実した1日になって大満足でした！

—メンバーの皆さんが忙しいスケジュールの合間でも旅に行く理由は何だと思いますか？

メンバーそれぞれだとは思いますが、私の場合は「いろんな経験をしたいから」ですね。素敵な風景を見たいな経験はもちろん、自分で飛行機の手配をするのも、大変だけど「いい経験だったな！」と思いますし、ハワイでは「人って、意外と他人のことを見ていない」「もっと自由に生きていいんだな」と感じる事ができて。それまでの自分の価値観が変わるような経験もできたんです。そういう経験の一つひとつが今の自分にはとても勉強になると思っています。なので、これからもお休みにはいろいろ場所を旅してみたいです！

—ぜひ、旅を楽しんでください！ちなみに、次に行きたい場所は決まっていますか？

両親が「オーストラリアで見た星空の美しさが忘れられない」と話していたのを聞いて、私もすぐ行ってみたいんです。先日メンバーに「一緒に砂浜に寝転がって、星を見ない？」と提案したら「ええ、ちょっと恥ずかしいよ…」とやんわり断られちゃいました…。でも私は諦めません！根気強くプレゼンして、絶対にみんなと一緒にオーストラリアに行きます!!



👑 Coupling Collection 2022-2025 👑 5th ALBUM MEMORIAL LIVE『My respect』

【会場】有明アリーナ
【開催日】2026年2月20日(金)・21日(土)・22日(日)・23日(月祝)
【内容】アルバム発売を記念したライブと、アルバムに収録されていない楽曲で構成されるカップリングコレクション、4日間にわたるライブをお見逃しなく！配信チケットも絶賛発売中です！詳細は、乃木坂46公式HPをご覧ください！



抽選で **岡本姫奈さん直筆サイン入り色紙1名様にプレゼント!**

ご応募は日本ユースホステル協会ホームページの専用お申し込みフォームから！

<https://jyh.jp/hm>

応募〆切: 2026年4月末日

※当選者にはご応募時にご登録いただいたメールアドレス宛にご連絡いたします。
①jyh.jpからのメールが受信できるように設定をお願いいたします。

